

団体ボランティア 協働事業

# 「街かど お箏」参加者大募集

箏ことというところ、お正月に着物を着て、正座で演奏し、昔のお稽古ごとというようなイメージをお持ちではありませんか？

「街かど お箏」は、普段の服装で、椅子に座ったまま演奏することができる、体験型演奏会です。

旭あさひ箏曲クラブのメンバーが講師になるので、初めての方、久しく演奏されていない方、どんな方でも大歓迎です。

メンバーによる演奏コーナーも設けています。最近の流行曲の演奏もあるので、どんな曲を聴くことができるかは、お楽しみに。

箏の音色を通して、芸術の秋を充実させませんか。

### 日時

①10月22日(金)

②11月19日(金)

①、②共通スケジュール

・第一部

午前10時～

・第二部

午前10時50分～

### 場所

①旭まちづくりセンター

②知多市子ども未来館

### 参加費

無料

### 予約

10月5日(火)開始

### 定員

各部ともに10名

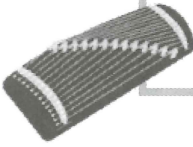
定員に達し次第募集終了

### 主催

旭箏曲クラブ

申込み・問合せ

総合ボランティアセンター



令和3年度 青少年ボランティア・市民体験事業

## 夏休み ボランティアマチャレンジ

8月に中高生を中心とする延べ183名が、ボランティア団体や地域のサロン、施設など32か所で開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保育園や高齢者施設で体験することができないため、新たに外国人支援のボランティアなど協力先を広げて行いました。

また、訪問体験はできませんでしたが、保育園で使うポンポンなどや、高齢者施設に贈る敬老お祝いカードやぞうきんなどをつくる体験を増やしました。

10月から体験の様子をボランティアセンターで展示しています。ぜひお越しください。QRコードからもご覧になれます。

### 【体験先 外国人支援】



教科書などで学ぶグローバル化の必要性というものを身近に感じることができた。日本語を教えることが、在日している人の大きな助けになることを知った (中部中学校3年生)

### 【体験先 視覚障がい者支援】



障がいスポーツの楽しさと難しさを知れて良かったです。初めて、全盲の人と関わってみて、音の大切さがわかりました。・・・(後略) (知多翔洋高校3年生)

※写真と感想文作成者は一致しない場合があります。



# ボランティア通信

知多市総合ボランティアセンター  
TEL.0562-39-0800 FAX.0562-39-0820

## 団体ボランティア紹介 ガールスカウト愛知県第95団



Q 活動内容について教えてください。

A 身近な材料である段ボールを使いスリッパやベッド、簡易トイレなど防災グッズを作ったり、自然体験として夏のキャンプ、冬のスキーなどの活動をしています。スカウト(子ども)に役割と責任を持たせ、何にでも主体性を持って自分らしく行動できる女性を目指すなど、体験による学びを重視した活動を行っています。

Q 活動中のやりがいは何ですか。

A 夏のキャンプではカヌー製作を行いました。スカウトたちで、骨組みの組み方やビニールシートの貼り方を考え、水に浮かぶかを何度も調整をし、カヌーに乗って遊ぶことが出来ました。完成した喜びを一緒に感じることで指導者としてやりがいを感じます。

Q 活動の中で大切にしていることは何ですか。

A 困難な環境でも自分達で何とかしようと考える行動する力、手順や方法を話し合い解決していく力、独りよがりでないリーダーシップ能力が培われるように心がけています。



夏のキャンプで手作りカヌー製作中

## たまたま研鑽中 災害ボランティアコーディネーター基礎力向上講座

今年も災害が日本列島を襲いました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。

災害が発生すると、復興復旧にボランティアが集まります。今では、災害時のボランティアは多くの方に認知され、思いやりの輪がどんどん大きく広がっています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症のまん延により、現在被災地のボランティア受け入れには制限がかかっています。

被災地での活動を希望する方は、必ず現地の受け入れ情報を確認してから行動してください。思いやりの心が、被災地の迷惑にならない様子を付けましょう。

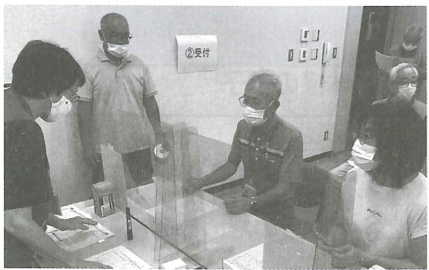
さて、知多市でも被災時には災害ボランティアセンターが設置されます。現在災害ボランティアセンターを運営する災害ボランティアコーディネーターは約150人の登録

があり、毎年研鑽を重ねています。

今年度は、感染症対策を入れた新しいマニュアルを基礎力向上講座で実際に行い、参加者とともにブラッシュアップ(磨き上げ)をしています。

目に見えないウイルス対策をどの程度行い、駆け付けてくれたボランティアが安心して活動できる手順を何度も何度も検討しています。

被災しない、感染しないが一番ですが、もしもの為の、防災や感染症対策に今後も備えていきます。



受付にはアクリル板を設置